

足近小学校 令和3年度 第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和3年7月1日（木）14：00～15：15
- 2 出席者 羽島市教育委員会 渡邊秀樹 教育支援センター所長補佐
学校運営協議会委員 13名

3 内 容

- (1) 会長と校長あいさつ
- (2) 授業参観
- (3) 協議

<校長より近況について説明>

運動会は延期したが、11月20日（土）を第一候補と考えている。雨天の場合は順延する予定である。

宿泊学習は、感染状況を見ながら、内容を工夫し、実施する予定である。

水泳の授業を実施している。現在のところ、天候にも恵まれ、毎日実施できている。

教職員のワクチン接種は、7～8月に実施予定である。

<委員>

○2クラスある学年と1クラスの学年では、人数が極端に違う。2クラスだと少人数で学習できる素晴らしい学習環境である。

○教科書をスクリーンに写していたが、文字が小さい。全員に見えるよう工夫が必要である。

○窓が閉まっていて、換気ができていない学級があった。コロナ渦では、喚起が必要である。

○全体におとなしい児童が多い。授業が落ち着いてできている。

○足近小学校はよい学校だなと感じる。学習に向かう気持ちがある。

○iPad を使用している授業がたくさんあった。まだまだ先生方も手探り状態ではあると思うが、iPad を活用するとよい場面では大いに活用する。ただ、ノートに文字を書くことも大切ではないか。低学年では特に大切である。

○子供たちの姿勢がよい。

○6年生の防災ビデオを見て書く感想を読んでいたら、大人だなと思える感想であった。

○iPad を使用するようになると、会話が減ってくる。コミュニケーション能力が大切である世の中であるので、どのように育てるのか考えなければならない。

→ソフトウェアの機能を活用して、両立を図ることができるよう今後実践していきたい。

○千葉の事故から、通学路の危険な場所の総点検の必要がある。

→地域の方が見守ってくださっている。保護者も迎えに出てくださる方がいる。とてもありがたいことである。足近小校区は、狭い道が多く、千葉の事故のように車が突っ込んできたら防ぎようがない。特に心配している場所は、須賀駅北側の5差路付近である。

<渡邊所長補佐>

学校運営協議会がこのように行われ、子供たちのことをみんなで考えられることに感謝している。コロナ渦でできることを考え工夫して実施していただいている。子供たちは、学ぶ時とそうでない時を区別して、けじめをつけて生活できている。

iPad とノートに書くことは、バランスが大切である。まずは使ってみて、その上でどのように使っていくか考えるとよい。

(4) その他

■第3回 2月9日予定

※時間等は追って連絡

4 閉会のあいさつ

<委員長>

次回まで間隔があくが、何かあれば意見を申し出てほしい。

5 お礼の言葉

<校長>

本日いただいた意見を、職員へも共有し、課題を解決できるよう取り組んでいきたい。